

報道関係者 各位

平成 28 年 11 月 30 日

【照会先】

職業能力開発局 能力開発課訓練企画室

課長 波積 大樹

室長 稲原 俊浩

室長補佐 菊田 正明

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5993)

(直通電話) 03(3595)3403

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズが、 「ハロートレーニング ～急がば学べ～」に決定しました

厚生労働省は、公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズを「ハロートレーニング ～急がば学べ～」に決定しましたのでお知らせします。

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズの募集は、6月9日から7月29日に実施したもので、応募総数 2,857 件（愛称：1,393 件、キャッチフレーズ：1,464 件）の中から、11月17日に開催された選定委員会での審査により決定されました。

今回選定された「ハロートレーニング ～急がば学べ～」は、今後、全国の職業訓練実施機関やハローワーク等において使用し、公的職業訓練が全ての働こうとする方、働く方にとってキャリアアップや希望する就職を実現するための有効なツールであることへの理解と、制度の活用を促進を図っていきます。

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズは、

ハロートレーニング ～ 急がば学べ ～

■選定理由：

- 「ハロー」とは、新たな出会いを表す希望の言葉。トレーニングで鍛えた筋肉のように、「ハロートレーニング」を通じて仕事に必要な「スキル」（知識と技能）をしっかりと身につけて欲しい、そんな気持ちを表しています。
- また、新たな職業やスキルにチャレンジするには、ちょっと時間がかかるかもしれませんが、「急がば学べ」。焦らず、前向きに！
- 「ハロートレーニング ～急がば学べ～」は、新たなスキルアップにチャレンジする全ての皆さんをサポートする、「公的職業訓練」の「愛称」と「キャッチフレーズ」です。

■応募者：

「ハロートレーニング」（愛称）：東京都 大井田雄策（おおいだゆうさく）さんほか 25 名

「急がば学べ」（キャッチフレーズ）：静岡県 海野吉弘（うんのよしひろ）さん

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズ選定委員会委員 プロフィール

(五十音順・敬称略)



秋元 康（あきもと やすし） ◎選定委員長

作詞家

1958年東京都生まれ

美空ひばり『川の流れのように』をはじめ、AKB48『恋するフォーチュンクッキー』や『365日の紙飛行機』など、数多くのヒット曲を生む。2008年日本作詩大賞、12年日本レコード大賞“作詩賞”、13年アニー賞長編アニメ部門“音楽賞”を受賞。TV番組の企画構成、映画の企画・原作、CMやゲームの企画、マンガの原作、新聞・雑誌の連載など、多岐にわたり活躍中。東京藝術大学客員教授。



今野 浩一郎（いまの こういちろう）

学習院大学経済学部教授

1946年東京都生まれ

東京工業大学修士終了後、神奈川大学、東京学芸大学を経て、1992年から学習院大学経済学部教授。労働政策審議会委員、中央最低賃金審議会会長等を歴任。主な著書には、『資格の経済学』（共著、中央公論社、1995年）、『個と組織の成果主義』（編著、中央経済社、2003年）、『人事マネジメント』（共著、ミネルヴァ書房、2009年）、『正社員消滅時代の人事改革』（日経新聞社、2012年）、『高齢社員の人事管理』（中央経済社、2014年）等。



神野 紗希（こうの さき）

俳人

1983年愛媛県生まれ

現代俳句協会青年部長。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句をはじめ。第一回芝不器男俳句新人賞坪内稔典奨励賞受賞。NHK-B S「俳句王国」司会、Eテレ「俳句さく咲く！」選者などを経験。句集に『星の地図』（マルコポ.com）『光まみれの蜂』（角川書店）、著書に『初心者に優しい俳句の練習帳』（池田書店）など。現在、明治大学・玉川大学講師。



三遊亭 円楽（さんゆうてい えんらく）

落語家

1950年東京都生まれ

青山学院大学在学中、師匠・五代目三遊亭圓楽の目に留まり、落語の世界に誘われ、前座修行をしながら同大学を卒業。昭和52年(1977年)には、弱冠27歳にして笑点の大喜利レギュラーメンバーに抜擢され、現在では、そのキャラクターは大喜利に欠かすことのできない存在に。また、その間数多くのテレビ・ラジオに出演し活躍するほか、各種団体・自治体からの依頼による講演も多数。2010年に、六代目三遊亭円楽を襲名。

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズの選定について

公的職業訓練とは

公共職業訓練と求職者支援訓練の総称。

求職者が就職に必要な職業スキルや知識を習得するために、無料で受けられる訓練（離職者訓練）。

その他、在職者向け訓練、学卒者向けの訓練のほか、障害をお持ちの方を対象とした訓練も実施。

職業訓練のイメージ

訓練受講によって
高い就職率を実現し、
一億総活躍を下支え！

時代のニーズに即したコースも
創設し、国民の働くニーズに対応

年間約30万人が訓練を受講

働こうとする方、働く方全てが対象

日本の労働力人口は6600万人！

- ・失業された方
- ・働きたいのに、キャリアが少ない方（シングルマザー、ニート、ひきこもりなど）
- ・障害者
- ・学卒者
- ・スキルアップを目指す在職技術者

多種多様な訓練分野を網羅

〔離職者訓練における主な分野別の就職数〕

- ・建設・製造系（13,475人）
 - ・IT系（15,718人）
 - ・事務系（29,757人）
 - ・サービス系（10,967人）
 - ・介護系（19,582人）
 - ・デザイン（1,422人）
 - ・理容・美容系（1,206人）
- （括弧内は平成26年度の就職者数）

※この他、学卒者（7,950人）、障害者（3,387人）、在職者受講者102,887人

訓練コース（一部）

- ・金属加工、電気工事、住宅リフォーム
 - ・OAシステム開発、Web設計
 - ・ビジネス経理、医療事務
 - ・調理、ホテル・レストランサービス
 - ・介護サービス、福祉用具
 - ・パソコングラフィック、DTP
 - ・ファッションリテール、和装技術
- ※ 第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、介護職員初任者研修等の資格を取得可能！

課題

◇ 多様な分野の訓練コースを設定するなど、時代のニーズに合わせた内容としているものの、その内容や効果を十分に理解いただけていない。

- 国民一般における認知度
→ 厚生労働行政モニターで求職者支援制度の名称及び内容を知らない者が7割弱
- 「訓練」に対する世間のイメージ
→ 「厳しい」「辛い」など

今回の取組み

「愛称」「キャッチフレーズ」を公募のうえ選定。
選定した「愛称」「キャッチフレーズ」を使用し、公的職業訓練が、全ての働こうとする方、働いている方にとってキャリアアップや希望する就職を実現するためのツールであることを周知。
公的職業訓練の活用の促進を図り「一億総活躍社会の実現」「働き方改革」を推進。

【募集期間】平成28年6月9日～7月29日

【応募状況】愛称：1,393件、キャッチフレーズ：1,464件

ハロートレーニング(公共職業訓練・求職者支援訓練)の全体像

公共職業訓練

◇対象:ハローワークの求職者 主に雇用保険受給者
(無料(テキスト代等除く))

◇訓練期間:概ね3月~1年

◇実施機関

○国(ポリテクセンター)

主にものづくり分野の高度な訓練を実施(金属加工科、住宅リフォーム技術科等)

○都道府県(職業能力開発校)

地域の実情に応じた多様な訓練を実施(木工科、自動車整備科等)

○民間教育訓練機関等(都道府県からの委託)

事務系、介護系、情報系等モデルカリキュラムなどによる簡易な訓練を実施



求職者支援訓練

◇対象:ハローワークの求職者 主に雇用保険を受給できない方
(無料(テキスト代等除く))

◇訓練期間:2~6か月

◇実施機関

○民間教育訓練機関等(訓練コースごとに厚生労働大臣が認定)

<基礎コース>基礎的能力を習得する訓練

<実践コース>基礎的能力から実践的能力まで一括して習得する訓練

実践コースの主な訓練コース

介護系(介護福祉サービス科等)

情報系(Webクリエイター養成科等)

医療事務系(医療・調剤事務科等)等



離職者向け

在職者向け

学卒者向け

障害者向け

◇対象:在職労働者(有料)

◇訓練期間:概ね2日~5日

◇実施機関:**○国(ポリテクセンター)**

○都道府県(職業能力開発校)

◇対象:高等学校卒業者等(有料)

◇訓練期間:1年又は2年

◇実施機関:**○国(ポリテクカレッジ)**

○都道府県(職業能力開発校)

◇対象:ハローワークの求職障害者(無料)

◇訓練期間:概ね3月~1年

◇実施機関:**○国(障害者職業能力開発校)**

・(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構営

・都道府県営(国からの委託)

○都道府県(障害者職業能力開発校、職業能力開発校)

○民間教育訓練機関等(都道府県からの委託)

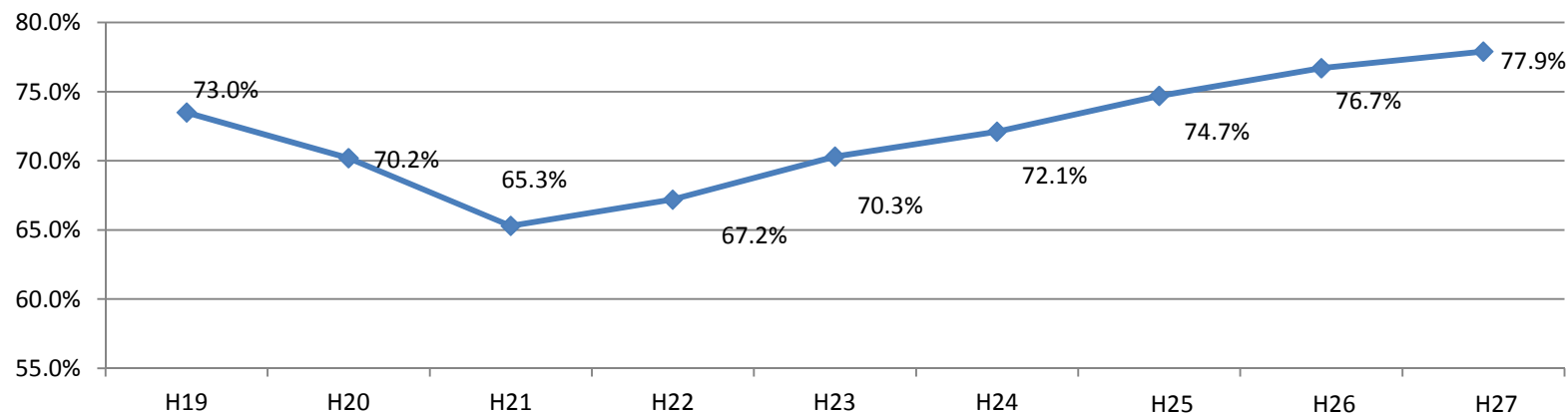
平成27年度 公共職業訓練 実績	合計		国(ポリテクセンター等)		都道府県	
	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率
離職者訓練	127,807	77.9%	29,716	87.2%	98,091	75.6%
うち施設内	37,829	85.7%	28,838	87.2%	8,991	81.9%
うち委託	89,978	75.0%	878	83.6%	89,100	74.9%
在職者訓練	107,604	-	56,873	-	50,731	-
学卒者訓練	17,877	96.8%	5,655	99.3%	12,222	96.1%
合計	253,288	-	92,244	-	161,044	-

平成27年度 公共職業訓練実績 障害者訓練	合計		国立機構営		国立都道府県営		都道府県立	
	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率	受講者数 (人)	就職率
うち障害者職業能力 開発校	1,935	70.7%	551	75.6%	1,136	66.6	248	80.2%
うち職業能力開発校	375	82.8%	-	-	-	-	375	82.8%
うち委託訓練	4,384	47.9%	-	-	-	-	4,384	47.9%

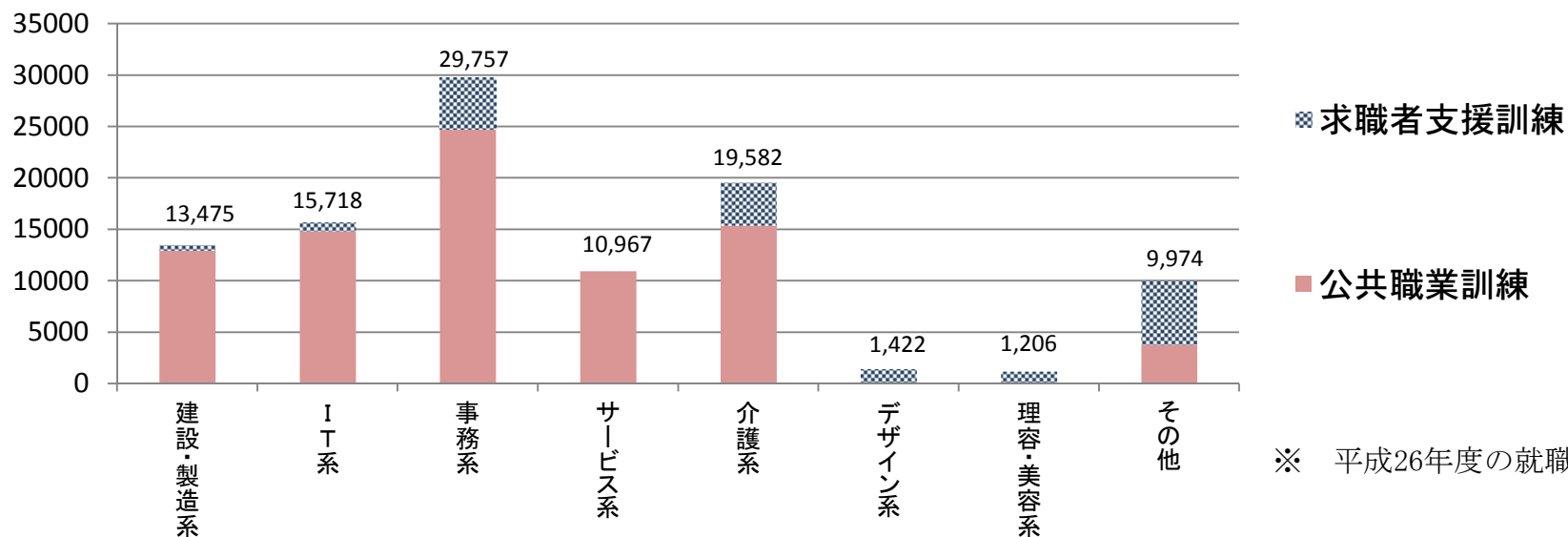
平成27年度求職者支援訓練 実績 受講者数合計:40,587人
(基礎コース)11,653人 就職率:56.1% (実践コース)28,934人 就職率:60.6%

[参考] ハロートレーニング(離職者訓練)の就職の状況

◇ 公共職業訓練の就職率



◇ 公共職業訓練・求職者支援訓練の分野別就職者数

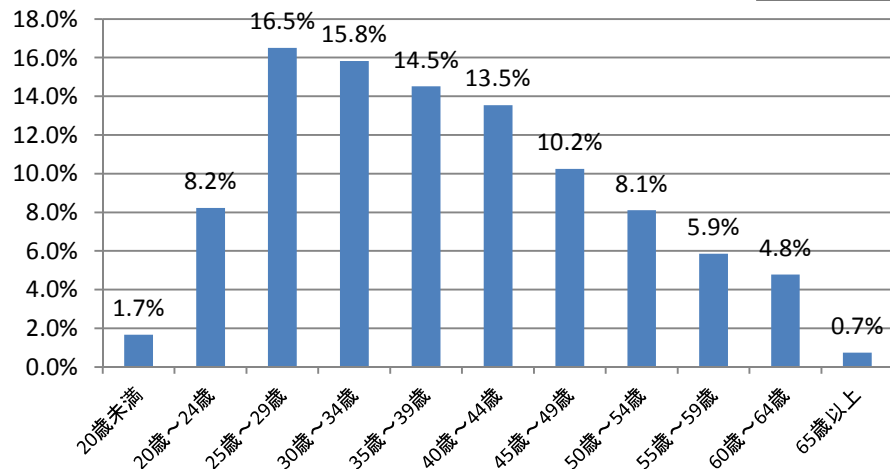


※ 平成26年度の就職者数

〔参考〕ハロートレーニング(離職者訓練)の受講者の状況

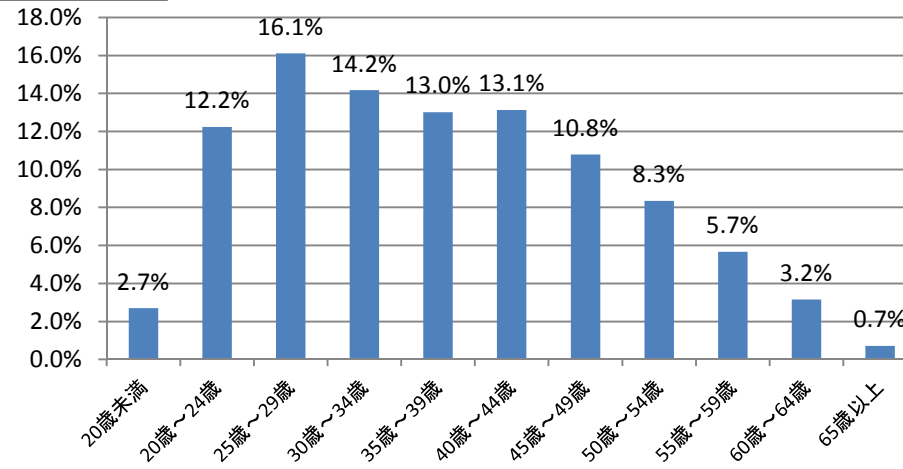
＜公共職業訓練＞

年齢階層別の状況



＜求職者支援訓練＞

(平成27年度)



男女別の状況

